



ケータイを持たせるなら「知らなかった…」では済まされません!

携帯電話(ケータイ)を利用した犯罪やトラブルに巻き込まれる子どもが増えています。「うちの子は大丈夫」「うちの子に限って」と思っている、いつの間にかわが子が被害者に、そして加害者にさえ、なってしまうこともあるのです。

子どもにケータイは本当に必要ですか?

ケータイを持たせる前に、なぜ必要か、本当に必要かを子どもとよく話し合しましょう。安心のために持たせたケータイで思わぬトラブルに巻き込まれてしまうことも!



持たせる前にまずルール!

ケータイを使うには、公共のマナーを知ることはもちろん家庭でのルールづくりが必要です。子どもとよく話し合って「わが家のルール」を決めましょう。

例えば

- ① 知らない人とメールのやり取りをしない。
- ② 自分や友達の写真や個人情報を載せない。
- ③ 人を傷つけるメールや書き込みをしない。



ケータイを持たせるなら最低限やるべきことはフィルタリング!

インターネット上の有害情報から子どもを守るために**必ずフィルタリング**を利用しましょう。

フィルタリングの利用は、「茨城県青少年のための環境整備条例」で保護者の努力義務となっています。

フィルタリングとは、インターネットの有害情報をブロックしてくれるサービスです。

(各携帯電話会社が無料で提供しています。)

プロフィールサイト



出会い系サイト



掲示板



ネットいじめ



問 県女性青少年課 ☎029(301)2183

女性青少年課ホームページ <http://www.pref.ibaraki.jp/bukyoku/bugai/josei/josei.htm>

今年、平成二十年の干支は「子(ねずみ)」。
十二支の第一位にあたり、方位に当てはめた
場合は北、時刻では午前0時ごろを表して
います。子という字は、頭が大きく、左右の
手のびやかに動かしている乳児の象形文
字で、新しい生命力を象徴するめでたい文
字です。繁殖する意味を含んでいることか
ら、動物を配するときに繁殖力の高いネズ
ミが当てられたそうです。

なぜネズミが十二支の一番目になったの
かについては、昔から伝わる話があります。
ある年の暮れに神様が動物たちに、「元日
の朝にあいさつに来なさい。」一番早く来たも
のからその年の大将にする」と言ったので
す。ウシは足が遅いので、大みそかの朝早く
に牛舎を出ました。そのウシの背中に飛び
乗って行き、神様の前に来ると一番に飛び出
したのがネズミなのです。ちなみにネコは、
ネズミに一日遅れの日を教えられ、十二支に
入れませんでした。それ以来、ネズミはネ
コに追われて
いるのだとか。

子には、増
える、茂る、育
つという意味
があります。
すべての子ど
もが、健やか
に育つような
年になるとよ
いですね。



